

健康経営レポート 2026

株式会社オンフェイス | 健康経営の取組内容と成果のご報告

本レポートは、当社の健康経営の取組内容と成果を、従業員、お客様、地域の皆さま、採用候補者などのステークホルダーに向けて分かりやすく開示することを目的として作成したものです。

当社は、従業員の心身の健康と相談しやすい職場風土を、保険代理店としての顧客対応品質を支える経営基盤と位置付けています。

主要指標サマリー

指標	2025 年度・確認値	位置づけ
ストレスチェック回答率	100%	従業員の状態把握
高ストレス者割合	7.1%	心身不調リスクの確認
総合健康リスク	71（全国平均 100）	職場環境・健康リスク
プレゼンティーイズム	平均 4.47 点／損失割合 10.6%	生産性低下の早期把握
代理店 NPS	40.7	顧客対応品質の補助指標
事故対応 NPS	76.5	事故時対応品質の補助指標
継続意向平均	9.19 点	顧客の継続意向
生命保険 24 か月契約維持率	95.1%	顧客維持・信頼関係
メンタルヘルス不調による休職者数	0 人	就業に関する指標
労働災害・死亡災害件数	労働災害 0 件／死亡災害 0 件	労働安全衛生指標

1. 健康宣言・健康経営方針

健康宣言

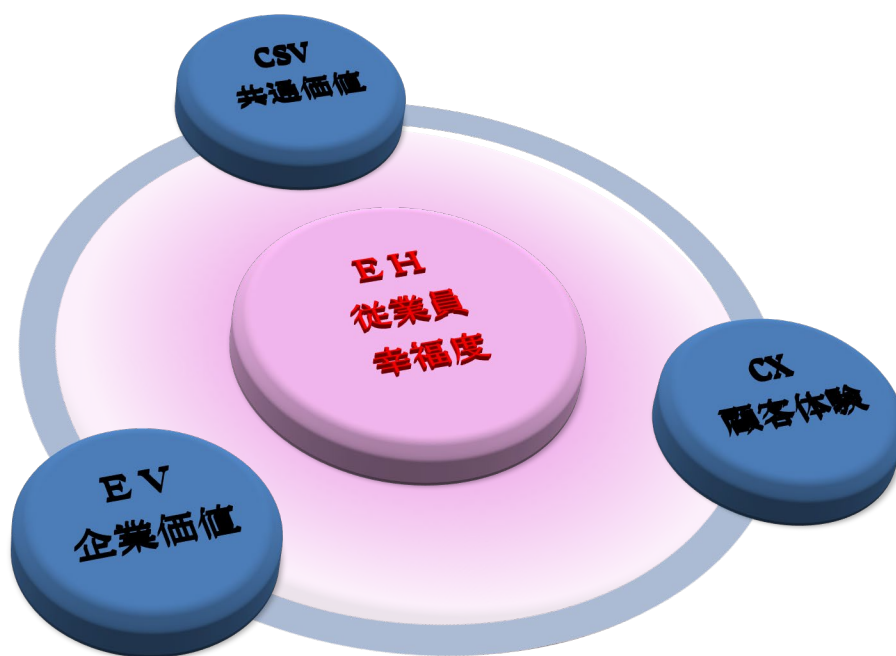
オンフェイスでは、世間よし（共通価値）、買い手よし（顧客体験）、売り手よし（企業価値）の三方よしの経営に努めています。この実現に向けて取り組むのは社員であり、三方よしの中心は社員であるという考えから、社員の幸福度を高めることを経営方針としています。

社員の幸福度を高めるため、社員と家族の健康づくり、職場環境の改善、ワークライフバランスの取組みなどの健康経営を積極的に推進してまいります。

健康経営の位置づけ

当社は「オンフェイスをとりまく全ての人々の幸せを追求する」という理念の実現に向け、従業員の心身の安定と相談しやすい職場風土を経営基盤と位置付けています。保険代理店業務では、従業員の健康状態や社内連携が、保険のお手続き時の説明品質、事故対応時の初動対応、お客様への寄り添いに直結します。

そのため、健康経営を通じて従業員が安定して働ける環境を整え、顧客対応品質の安定、NPS・顧客維持率の維持向上につなげていきます。



2. 健康経営で解決したい経営課題

当社は保険代理店として、保険のお手続き時の説明品質、事故対応時の初動対応、お客様のご不安に対する寄り添いが NPS や顧客維持率に直結する事業です。一方で、事務量の増加、業務の高度化、商品改定、拠点統合等により、従業員の質的負担や身体的疲労が生じやすい状況にあります。

従業員の体調不良や生産性低下の兆候を早期に把握し、相談しやすく連携しやすい職場環境を維持することを、当社の健康経営上の重要課題としています。

健康課題の重点

重点課題	背景・把握している状況	改善の方向性
質的負担	保険制度・商品改定・顧客説明の高度化により、判断負荷が高まりやすい。	業務分担の見直し、更新・事故対応・事務処理の標準化
身体的疲労	事務量増加に伴い、長時間の同一姿勢による肩こり・疲労が生じやすい。	肩こり対策体操、短時間ストレッチ、小休止の習慣化
同僚支援・横の連携	上司支援は良好である一方、拠点間・担当者間の横連携をより強化する余地がある。	LINEWORKS、1on1、まじきら会、ランチ会による相談しやすさの維持

3. 健康経営戦略の全体像

当社の健康経営は、健康投資を単独の福利厚生として捉えるのではなく、従業員の不調予防、職場風土の維持、顧客対応品質の安定、NPS・契約維持率の確認までを一体として整理しています。

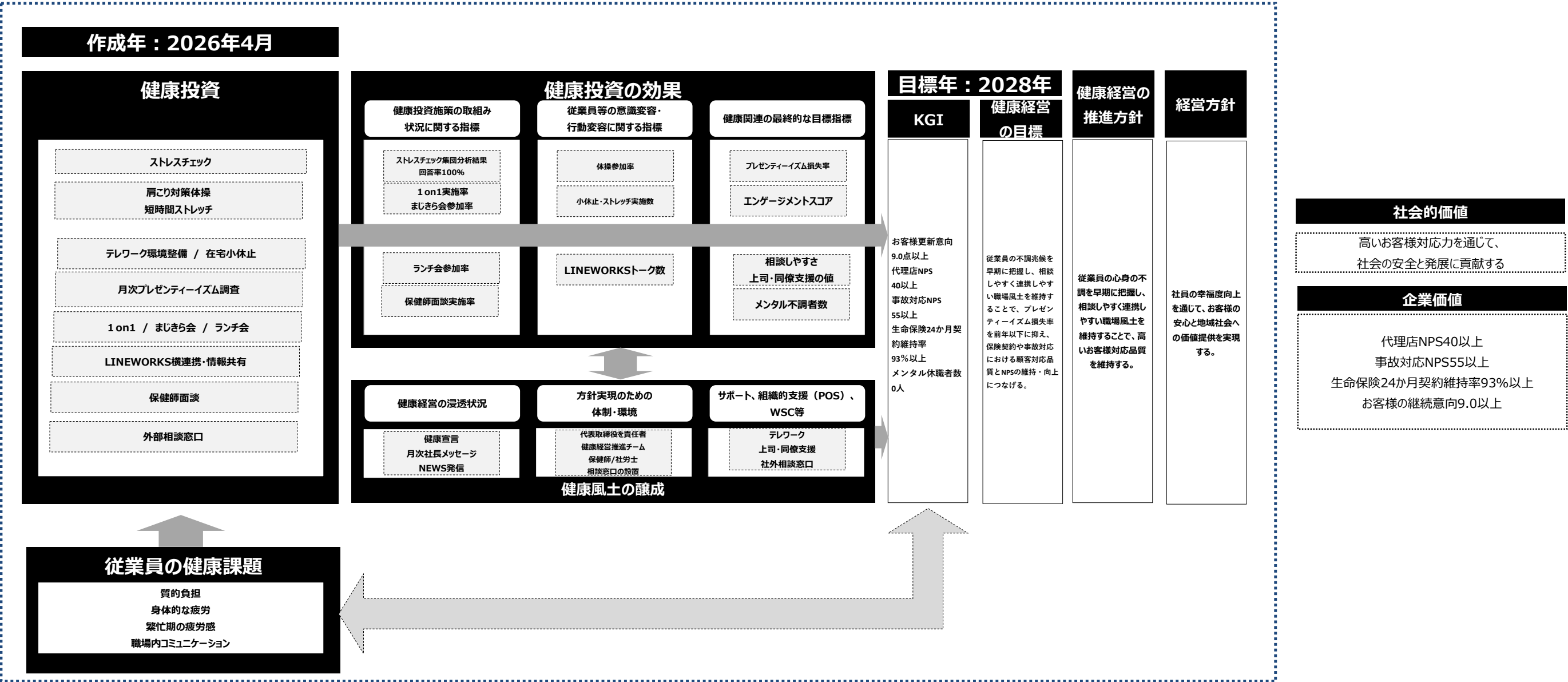
戦略マップでは、健康投資、取組状況指標、意識・行動変容指標、健康アウトカム、経営アウトカム、社会的価値のつながりを示します。

注記：

※NPS・契約維持率は、健康経営単独の成果と断定するものではなく、従業員の状態や社内連携が顧客対応品質にどのように関係しているかを確認する補助指標として活用しています。

※従業員等の構成比は、集計対象日時点の役員・従業員等を含む社内集計に基づきます。

【健康経営戦略マップ】



4. 推進体制と主な取り組み

推進体制

代表取締役を健康経営責任者とし、健康づくり担当者が健診、ストレスチェック、プレゼンティーイズム調査、保健師面談等の実務を担っています。協会けんぽ、外部専門職、健康経営アドバイザー等と連携し、結果を経営者が確認したうえで、改善策を検討しています。

主な取り組み

区分	取り組み内容	狙い
状態把握	毎月の SPQ 方式プレゼンティーイズム調査、年 1 回のストレスチェック集団分析	不調兆候・生産性低下・職場環境の変化を早期に把握
個別フォロー	保健師面談、1on1、経営者との対話	健康不安や業務上の悩みを早期に相談できる体制づくり
職場環境改善	肩こり対策体操研修、業務時間中の短時間ストレッチ、小休止の推奨	身体的疲労、肩こり、同一姿勢による負担の軽減
社内連携	まじきら会、ランチ会、LINEWORKS による情報共有	横の連携、心理的安全性、相談しやすさの維持
働き方支援	テレワーク環境整備 在宅勤務時の健康障害防止策	在宅勤務時の肩こり・眼精疲労・孤立感の予防

KGI・KPI

区分	指標	目標・確認水準
KGI	代理店 NPS	40 以上
KGI	更新対応 NPS（更新契約 NPS）	40 以上
KGI	事故対応 NPS	55 以上
KGI	継続意向平均	9.0 点以上
KGI	生命保険 24 か月契約維持率	93%以上
KGI	メンタルヘルス不調による休職者数	0 人
KPI	プレゼンティーイズム損失割合	前年以下への抑制・悪化防止
KPI	ストレスチェック総合健康リスク	100 未満を維持
KPI	ストレスチェック回答率	100%
KPI	1on1・保健師面談等	継続実施

健康課題改善の数値目標

健康課題改善の数値目標として、プレゼンティーイズム損失率の前年以下への抑制、ストレスチェック総合健康リスク 100 未満の維持、メンタルヘルス不調による休職者数 0 人、ストレスチェック回答率 100%、1on1・保健師面談等の継続実施を確認指標としています。

5. 従業員の健康状態・職場風土の確認結果

ストレスチェック集団分析

2025 年度のストレスチェックは対象者全員が回答し、回答率は 100% でした。高ストレス者割合は 7.1% であり、総合健康リスクは 71 と全国平均 100 を下回る良好な水準でした。高ストレス者への個別フォローは継続して実施しています。

確認指標	結果	評価・対応
回答率	100%	全員の状態把握につながっている
高ストレス者割合	7.1%	個人が特定されない形で集団傾向を確認し、個別フォローを継続
総合健康リスク	71（全国平均 100）	全体として良好な水準
相対的課題	質的負担・身体的負担・疲労感・身体愁訴・同僚支援	業務標準化、肩こり対策、横連携強化を実施

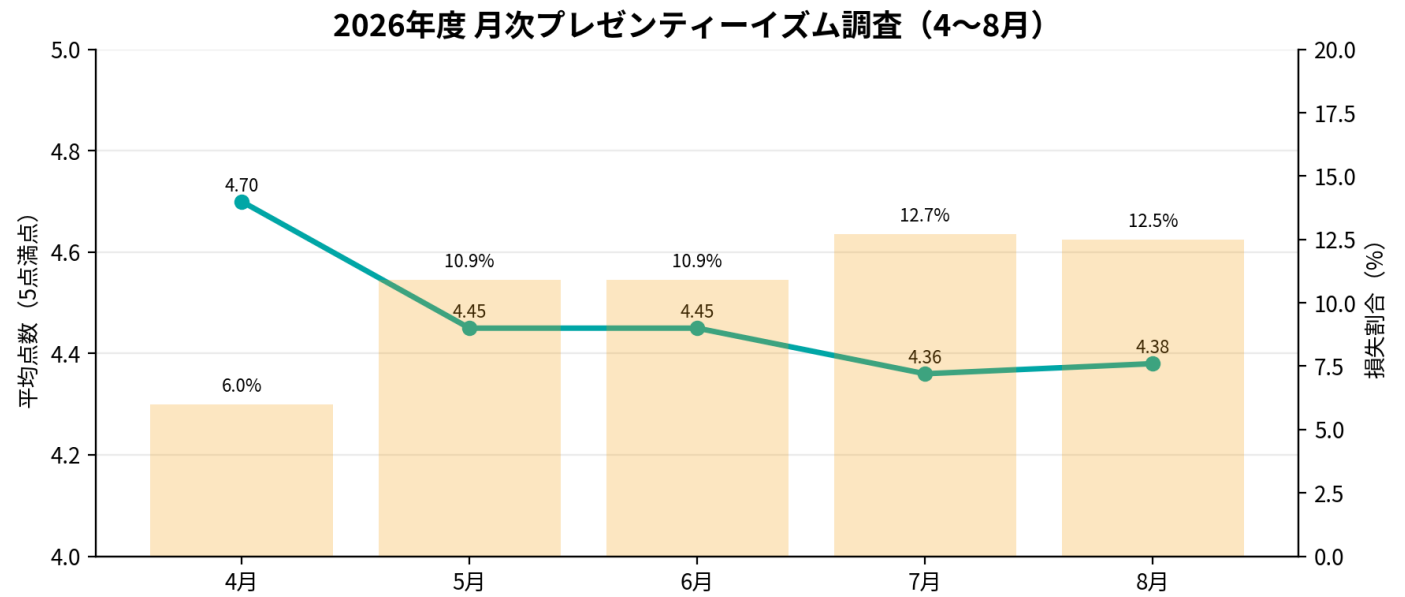
就業・労働安全に関する指標

労働災害・死亡災害については、2025 年度の発生件数を確認し、発生防止に向けた職場環境整備を継続しています。2025 年度のメンタルヘルス不調による休職者数は 0 人でした。

指標	2025 年度実績
メンタルヘルス不調による休職者数	0 人
労働災害件数	0 件
死亡災害件数	0 件

プレゼンティーイズム調査

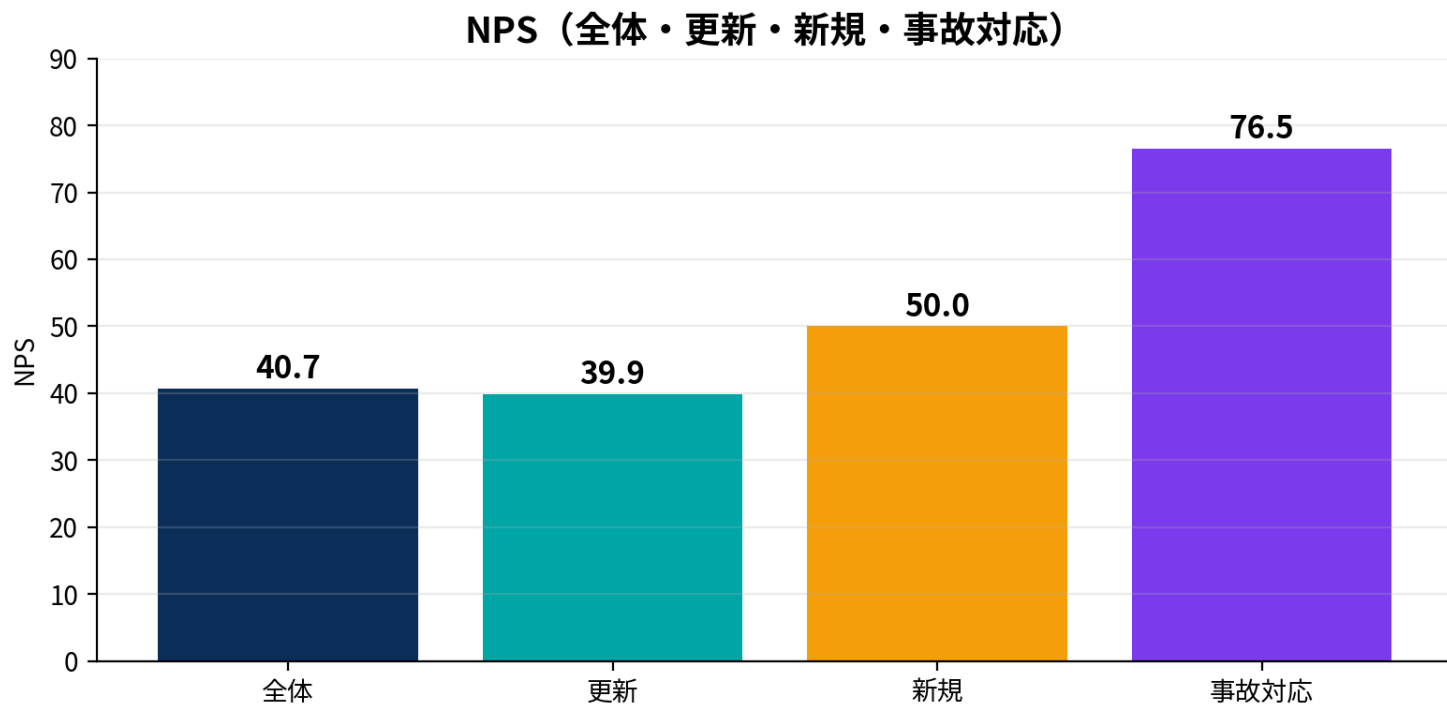
2026 年度は 4 月から 8 月まで毎月 SPQ 方式による調査を実施し、平均点数 4.47 点、損失割合 10.6% でした。月次で体調・生産性損失を把握することで、不調兆候を早期に確認する仕組みが定着しています。



6. 顧客対応品質の補助指標

当社では、健康経営の成果を従業員の健康指標だけで判断せず、保険代理店として重要な顧客対応品質にも表れるものと考えています。顧客 NPS、継続意向、契約維持率を補助指標として確認し、従業員の体調や社内連携が顧客対応品質の安定にどのように関係しているかを検証しています。

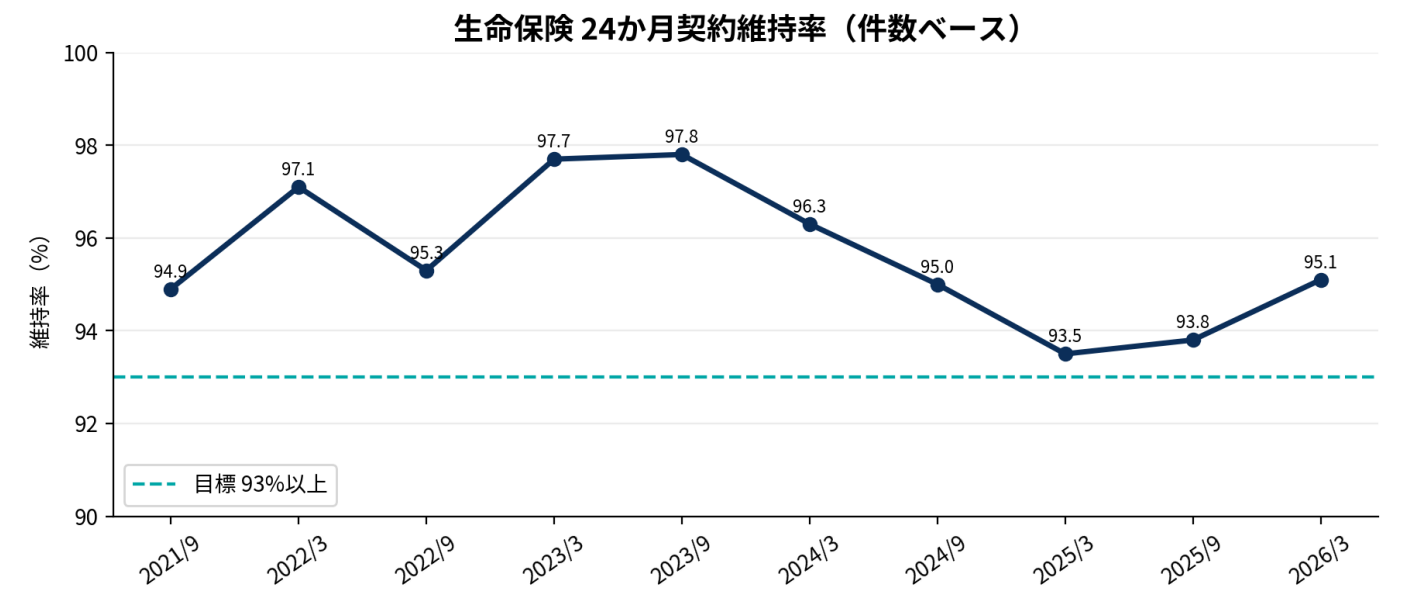
NPS・継続意向



* 保険会社によるお客様アンケート（NPS）による（集計期間 2025/04/01-2026/03/31）

生命保険 24 か月契約維持率

生命保険 24 か月契約維持率は 2026 年 3 月時点で 95.1%となり、2025 年 9 月時点の 93.8%から改善しました。目標値 93%以上を上回る水準を維持しています。



KGI 達成状況

KGI	目標	実績	評価
代理店 NPS	40 以上	40.7	達成
更新対応 NPS（更新契約 NPS）	40 以上	39.9	ほぼ目標水準
事故対応 NPS	55 以上	76.5	達成
継続意向平均	9.0 点以上	9.19 点	達成
生命保険 24 か月契約維持率	93%以上	95.1%	達成
メンタルヘルス不調による休職者数	0 人	0 人	達成

更新対応 NPS は 39.9 と目標にわずかに届かなかったため、今後も説明品質・更新時の情報提供を改善していきます。

7. 取り組みの評価・改善（PDCA）

評価結果

毎月のプレゼンティーイズム調査により、月ごとの体調や生産性損失の変動を把握し、不調兆候を早期に確認する仕組みが定着しました。2025 年度ストレスチェックでは、回答率 100%、高ストレス者割合 7.1%、総合健康リスク 71 と良好であった一方、質的負担や身体的疲労に改善余地が見られたため、肩こり対策体操、短時間ストレッチ、1on1、まじきら会等を実施しました。

顧客対応品質の補助指標として、代理店 NPS40.7、事故対応 NPS76.5、継続意向平均 9.19 点、生命保険 24 か月契約維持率 95.1%を確認しており、従業員が安定して働ける職場環境づくりが、顧客対応品質の維持に寄与していると考えています。

区分	内容	確認・改善の視点
Plan	事務量増加、業務高度化、拠点統合による質的負担・身体的疲労を健康課題として設定	健康課題と顧客対応品質をつなげて整理
Do	プレゼンティーイズム調査、ストレスチェック、保健師面談、1on1、肩こり対策体操、LINEWORKS 活用強化等を実施	不調予防、身体的疲労軽減、相談しやすさを高水準で維持
Check	ストレスチェック、プレゼンティーイズム、NPS、継続意向、24 か月契約維持率を確認	従業員の状態と顧客対応品質の両面で確認
Action	業務標準化、横の連携強化、短時間ストレッチ習慣化、面談継続を次年度改善へ反映	質的負担・身体的疲労・同僚支援を重点改善

8. 今後の改善方針

今後は、総合健康リスクが低く、相談しやすい職場風土が維持されている強みを継続しながら、相対的に課題が見られた質的負担、身体的疲労、疲労感、身体愁訴、同僚支援の改善に重点を置きます。

- ・業務分担の見直し、更新対応・事故対応・事務処理の標準化を進める。
- ・短時間ストレッチを習慣化し、長時間の同一姿勢による肩こり・疲労を予防する。
- ・LINEWORKS を活用した横の連携を強化し、拠点間・担当者間の情報共有を安定させる。
- ・プレゼンティーイズム調査、ストレスチェック、NPS、事故対応 NPS、24 か月契約維持率を継続確認し、従業員の健康状態と顧客対応品質の両面から改善状況を検証する。

9. 本レポートで開示している主な健康経営情報

本レポートでは、当社の健康経営の考え方、取組内容、確認指標、改善方針を一体的に整理し、従業員・お客様・地域の皆さまに向けて公表しています。

開示項目	掲載内容
健康経営の方針	健康宣言、健康経営の位置づけ、推進方針
健康経営で解決したい課題	事務量増加、業務高度化、質的負担、身体的疲労、同僚支援への対応
健康経営戦略	健康経営戦略の全体像、KGI・KPI、戦略マップ
主な取り組み	ストレスチェック、プレゼンティーイズム調査、保健師面談、1on1、まじきら会、肩こり対策体操等
健康状態・職場環境に関する指標	総合健康リスク、高ストレス者割合、メンタルヘルス不調による休職者数
生産性に関する指標	プレゼンティーイズム調査結果
顧客対応品質に関する指標	代理店 NPS、更新対応 NPS、事故対応 NPS、継続意向、24 か月契約維持率
安全衛生に関する指標	労働災害件数、死亡災害件数
今後の改善方針	質的負担、身体的疲労、同僚支援、業務標準化、横の連携強化

データ出所：株式会社オンフェイス健康経営関連資料、2025 年度ストレスチェック集団分析、2026 年度就労中の体調に関するアンケート、NPS 集計結果、生命保険 24 か月契約維持率資料、就業・労働安全指標。

注記：NPS・契約維持率は、健康経営施策のみで直接変化したと断定するものではなく、顧客対応品質を確認する補助指標として位置付けています。